

【資料2】

古賀市文化芸術振興計画 アクションプラン見直し案



古賀市文化芸術振興計画 アクションプラン

平成31年3月

「古賀市文化芸術振興計画」とは？

文化芸術が持つ力をいかして、市民、団体、行政が活動を行うことで古賀市を元気にすることを目的として、平成26年3月に策定した計画です。

「古賀市文化芸術振興計画」では、目的を達成するためにどんな方法を考えている？

古賀市文化芸術振興計画では上記目的を達成するためのテーマとして【「起こす 興す おこす」文化芸術を通して、個性を起こし、新たな魅力を興し、誇りをおこす】を掲げています。

第1段階：文化芸術活動を支える環境づくりをする。

第2段階：古賀市の個性を起こす。古賀市の新しい魅力を興す。

第3段階：文化芸術を通して、個性を起こし、新しい魅力を興すことで、誇りをおこす。

第4段階：おこした誇りが古賀市を愛する心となることで地域に貢献する気持ちが生まれ、ひいては市民一人ひとりが文化芸術の振興とともにまちづくりを担う一員であることを自覚し、古賀市文化芸術振興計画の目的である「文化芸術をいかして人やまちを元気にする」ことにつながる。

(※古賀市文化芸術振興計画の詳細は別頁「古賀市文化芸術振興計画について」をご覧ください。)

「アクションプラン」とは？

古賀市文化芸術振興計画に基づき、古賀市における文化芸術振興を計画的に推進するために市民、団体、行政が取り組んでいく具体的な活動を明記したものです。

アクションプランの見直しとは？

当初のアクションプランは古賀市文化芸術振興計画を策定した時に一緒に作りました。古賀市文化芸術振興計画中には「10年計画の中間年である平成30年に古賀市文化芸術振興計画の進捗を確認し、後期のアクションプランを見直す」ことが記されているため、これに基づき、古賀市文化芸術審議会に古賀市文化芸術振興計画の進捗を確認していただいたうえで、必要な部分についてアクションプランを見直しました。

アクションプランに書いている市民、団体、行政の定義は？

市民は古賀市に在住、通勤通学する及び市内を活動の場とする個人のことです。団体は古賀市内の企業、学校、民間非営利団体及び地域団体のことです。行政は古賀市役所のことです。

アクションプランの「行政がおこす」に書いている長期、中期、短期の定義は？

長期は達成期間として8～10年を目標としている項目です。中期は達成期間として4～7年を目標としている項目です。短期は達成期間として1～3年を目標としている項目です。

●発行：古賀市・古賀市教育委員会

●問い合わせ先：古賀市文化課文化振興係

TEL 092-940-2683 fax 092-944-6215

mail bunka@city.koga.fukuoka.jp

古賀市文化芸術振興計画について

目的:文化芸術をいかして人やまちを元気にしよう

誇りをおこす

文化芸術を通して、個性を起こし、新しい魅力を興すことで、自分自身への誇りが生まれます。その誇りは、人生・生活の質(QOL)を高め、自尊感情の高まりにつながり、生きる力となっていきます。また、その誇りは、古賀市を愛する心となり、地域に貢献する気持ちが生まれ、古賀市ならではの個性ある文化芸術の創造につながります。そして、その気持ちをもって、市民一人ひとりが文化芸術の振興とともにまちづくりを担う一員であることを自覚し、身近な問題に気づき、文化芸術に関わるQOLの向上を意識することで、古賀市文化芸術振興計画の目的である「文化芸術をいかして人やまちを元気にする」ことにつながります。

(1) 文化芸術を通して誇りをおこす

○「起こす」と「興す」の振興に力をいれ、市民一人ひとりが、個人、団体、古賀市への誇りを持ち、その気持ちを高められるよう努めます。

(2) おこした誇りを次世代に引き継ぐ

○自分自身だけで完結せず、培った技能や能力、知識を、発信、伝承、還元するための機会を充実させ、豊かな古賀市を次世代に引き継いでいくことに努めます。

古賀市の個性を起こす

古賀市には、文化芸術（美術・音楽・演劇・伝統芸能など）・文化財・自然景観・まち並み、またそれらに関わる人など、多くの宝が存在しています。これらの宝について「見つけて」、「いかして」、「伝えて」、「守る」そしてまた「見つけて」という段階を繰り返し、それにより古賀市の個性を起こすよう努めます。

(1) 宝を見つける

今ある宝を再認識する

○古賀市の文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材の素晴らしさを再認識し、市民が誇れる財産とします。

眠った宝を起こす

○生活の中にある「ひと、もの、こと」など、市民にとっては当たり前でも視点を変えると魅力的なものを掘り起こします。
○地域の魅力など宝の掘り起こしにあたって、特に子どもの視点による新たな切り口を大切にします。

(2) 宝をいかす

○文化芸術資源、自然景観などの活用策を検討し、文化振興を担う人材を支援するため、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援します。
○市民が文化芸術活動の場としてさまざまな公共施設や民間施設を活発に利用できるよう、施設活用策や活用に対する支援策を検討します。

(3) 宝を伝える

○古賀市が誇る文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材を市内外に周知するため、捉え方・見せ方の工夫を行い、古賀市の文化的な魅力を広く伝えられるよう積極的に発信します。

(4) 宝を守る

○文化芸術資源、自然景観、伝統ある芸能や行事やそれらに関する知識、技能、資料など、古賀市の誇れる宝を後世に残すよう努めます。

古賀市の新しい魅力を興す

文化芸術が持つ、福祉、教育、観光・産業振興、まちづくりなどに貢献出来る力を活用し、古賀市の新しい魅力を創出します。

(1) 人にやさしいまちづくり

○子どもの健やかな成長のために文化芸術の力をいかし、子育て世代の保護者を対象とした文化芸術事業を展開する「子育てしやすい文化芸術のまち古賀市」をめざします。
○文化芸術の力を全ての人がよりよく生きるためにいかすとともに、特に元気なシニア層のパワーを文化芸術のまちづくりに活用します。
○世代間、市内の各地域間、近隣市町とのつながりや国際交流の場面で文化芸術を通じた交流を促進します。
○学校と連携して、子どもたちに文化芸術を体験・鑑賞する機会をつくります。

(2) ざわめきづくり

○新たな視点で魅力を発見し、市内外に発信します。
○「農」と「芸術」、「商」と「文化」などの異なるジャンルを組み合わせることで、お互いの新たな魅力を発見し、活性化を図ります。
○「新たな魅力を発見し、発信できる人材」を養成し、新しい文化の仕掛け人やコーディネーターとしていかします。

環境づくり

文化芸術に関わるさまざまな活動の活性化を図るため、情報の収集・提供、人材育成、ネットワークづくりを行い、市民参画の視点を持って、個人・団体間の交流・連携を促進し、活動しやすい環境づくりを推進します。

○文化芸術に関わる団体・個人の交流を図り、行政・企業・学校・地域などと連携して活動できるように支援をします。
○文化芸術に関する情報の収集・提供を一元化するなど、文化芸術に対するセンター的機能の充実を図ります。
○福祉、教育、観光・産業振興など、他のジャンルと文化芸術をつなぐ「コーディネーター」の育成をします。
○古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図ります。
○施設整備を行い、文化芸術活動がしやすい環境づくりに努めます。

古賀市文化芸術振興計画 アクションプラン

環境づくり		古賀市の個性を起こす					古賀市の新しい魅力を興す	
		宝をみつける		宝をいかす	宝を伝える	宝を守る	人にやさしいまちづくり	ざわめきづくり
		今ある宝を再認識	眠った宝を起こす					
市民がおこす	<p>○文化芸術をいかした生活環境をつくろう。</p> <p>▼文化芸術をテーマとした意見交流を行い、文化芸術活動を楽しもう。【宝を再認識より移動】</p>	<p>○市内で行われる文化芸術活動に参加しよう。</p> <p>★文化、歴史、風景などの古賀市らしい環境を見つけよう。</p>	<p>○先入観にとらわれず、新しい発想や魅力を日常生活の中で見つけよう。</p> <p>○積極的に子どもが文化芸術に触れる機会をつくろう。</p>		<p>★古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境について話そう。</p>	<p>★古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境を守ることを意識しよう。</p>	<p>○文化芸術に関する活動やイベントに家族で参加しよう。</p> <p>○文化芸術を通して、世代間交流や国際交流を楽しもう。</p>	<p>○既成概念にとらわれず、新しい発想を大切に、文化芸術の魅力を日常生活にいかし、楽しもう。</p>
	<p>▼団体の交流を行い、互いに認め合い、高め合おう。【宝を再認識より移動】</p> <p>○文化芸術に関するイベント、団体の活動などの情報を収集し、提供しよう。</p> <p>○文化芸術活動同士の意見交流の場を設け、団体間のネットワークをつくろう。</p>		<p>○新たな文化芸術活動の取組に挑戦しよう。</p>	<p>★文化、歴史、風景など古賀市の環境をいかした文化芸術活動を行おう。</p> <p>▼地域の公民館や身近な施設を活用するとともに、古民家等の利用可能な場所を開拓し、文化芸術活動の場として活用しよう。【眠った宝より移動】</p>	<p>▼文化芸術を身近に感じられる体験講座や、アウトリーチの実施を活性化しよう。【今ある宝より移動】</p> <p>★屋外での活動や広報の方法など、「見える」文化芸術活動を意識しよう。</p>	<p>▼活動を次世代に引き継ごう。【誇りをおこすより移動】</p>	<p>○自治会での文化芸術事業の取組などの情報を共有し、地域での文化芸術の活性化を図ろう。</p> <p>○団体が行う活動に、障がい者との交流や世代間交流や国際交流などを取り入れよう。</p>	<p>○異なるジャンルの団体との交流を深め、活動内容やエリアを広げ、新たな団体の魅力をつくりだそう。</p>
短期	<p>○公募型補助金の募集をいかし、文化芸術活動団体の活性化を図ります。</p>	<p>○リーパスプラザこがなどの文化施設を活用した学習機会を提供します。</p>	<p>○教育機関との連携を図りながら、子どもたちの視点を大切にした文化芸術活動を目指します。</p>		<p>▼文化芸術活動や文化的資源を積極的に市内外へ情報発信します。【今ある宝より移動】</p> <p>→（修正案）★古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。</p>		<p>○子どもたちが文化芸術に親しむ機会を学校と連携を図り、提供します。</p> <p>○子どもたち、子育て世代、シニア世代が文化芸術に触れる機会を提供します。</p>	<p>○他部局との連携を図り、情報を共有し、新しい発想の事業を進めます。</p>
中期	<p>○文化芸術と他のジャンルが交流・協働する機会を作ります。</p> <p>○文化芸術に関するネットワークづくりを行います。</p>		<p>○近隣都市圏の文化芸術活動を調査研究し、新たな視点で事業を再生します。</p>				<p>▼近隣都市との広域的な連携を図ることで、文化芸術振興へいかします。【今ある宝より】</p>	<p>○観光や産業を文化的資源や文化芸術活動と組み合わせることで、お互いの新たな魅力を発見し、活性化を図ります。</p> <p>○文化芸術団体の新たな人材育成を進めます。</p>
長期	<p>○文化芸術に関する情報の収集・提供を一元化するなどの、センター的機能を担う拠点の整備を行います。</p> <p>○本計画を様々な機会に啓発を行い、文化芸術に関する意識啓発を行います。</p>			<p>▼文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。【今ある宝より移動】</p> <p>▼地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。【眠った宝より移動】</p>		<p>▼文化財の保存、継承、整備を行います。【環境づくりより移動】</p>	<p>○全ての市民が参加できる、文化芸術の場を提供します。</p>	

※当該アクションプランは、平成30年度に実施した古賀市文化芸術審議会において古賀市文化芸術振興計画の過去5年分の進捗を確認し、これを踏まえて今後5年を見据えて見直したものです。

アクションプラン見直し箇所説明

※階層の見直し：第1回の審議会でも触れたが、現状のアクションプランは、基本となる「古賀市文化芸術振興計画」との乖離が見られる。そのため各方策の階層の考え方については計画8頁の全体図を基に統一するようアクションプランの階層を見直し、各項目についても、そもそも計画のどこに属するかを考え、必要に応じて移動修正を行った。

★追加項目（この項目は第3回の会議でいただいたご意見「古賀市の環境をいかした文化芸術活動」「活動の見える化」を考慮し、追加した部分です。）

役割		項目内容
市民がおこす	宝を見つける	文化、歴史、風景などの古賀市らしい環境を見つけよう。
	宝を伝える	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境について話そう。
	宝を守る	古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境を守ることを意識しよう。
団体がおこす	宝をいかす	文化、歴史、風景など古賀市の環境をいかした文化芸術活動を行おう。
	宝を伝える	屋外での活動や広報の方法など、「見える」文化芸術活動を意識しよう。

▼移動項目（「古賀市文化芸術振興計画」にうたう項目と乖離があると思われる部分について移動したものです。）

役割	移動前	移動後	項目内容	移動理由
市民がおこす	今ある宝を再認識	環境づくり	文化芸術をテーマとした意見交流を行い、文化芸術活動を楽しもう。	計画中「環境づくり」4項目「古賀市の文化芸術環境について市民が語り合える場を設け、市民の文化芸術環境の向上を図ります。」に属すると考える。
団体がおこす	眠った宝を起こす	宝をいかす	地域の公民館や身近な施設を活用するとともに、古民家等の利用可能な場所を開拓し、文化芸術活動の場として活用しよう。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝をいかす」2項目「市民が文化芸術活動の場としてさまざまな公共施設や民間施設を活発に利用できるよう、施設活用策や活用に対する支援策を検討します。」に属すると考える。
	今ある宝を再認識	宝を伝える	文化芸術を身近に感じられる体験講座や、アウトリーチの実施を活性化しよう。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝を伝える」1項目「古賀市が誇る文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材を市内外に周知するため、捉え方・見せ方の工夫を行い、古賀市の文化的な魅力を広く伝えられるよう積極的に発信します。」に属すると考える。
	誇りをおこす	宝を守る	活動を次世代に引き継ごう。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝を守る」1項目「文化芸術資源、自然景観、伝統ある芸能や行事やそれらに関する知識、技能、資料など、古賀市の誇れる宝を後世に残すよう努めます。」に属すると考える。
	今ある宝を再認識	環境づくり	団体の交流を行い、互いに認め合い、高め合おう。	計画中「環境づくり」1項目「文化芸術に関わる団体・個人の交流を図り、行政・企業・学校・地域などと連携して活動できるように支援をします。」に属すると考える。
行政がおこす （中期）	今ある宝を再認識	人にやさしいまちづくり	近隣都市との広域的な連携を図ることで、文化芸術振興へいかします。	計画中「古賀市の新しい魅力を興す→人にやさしいまちづくり」3項目「世代間、市内の各地域間、近隣市町とのつながりや国際交流の場面で文化芸術を通じた交流を促進します。」に属すると考える。
行政がおこす （長期）	今ある宝を再認識	宝をいかす	文化芸術活動を行う個人や団体を行政が行う事業に積極的に活用します。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝をいかす」1項目「文化芸術資源、自然景観などの活用策を検討し、文化振興を担う人材を支援するため、既存の団体の活性化と新しい団体の創生を支援します。」に属すると考える。
	眠った宝を起こす	宝をいかす	地域での文化芸術振興の活性化をめざし、地域施設の活用を進めます。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝をいかす」2項目「市民が文化芸術活動の場としてさまざまな公共施設や民間施設を活発に利用できるよう、施設活用策や活用に対する支援策を検討します。」に属すると考える。
	環境づくり	宝を守る	文化財の保存、継承、整備を行います。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝を守る」1項目「文化芸術資源、自然景観、伝統ある芸能や行事やそれらに関する知識、技能、資料など、古賀市の誇れる宝を後世に残すよう努めます。」に属すると考える。

▼★移動及び修正

行政がおこす （短期）	今ある宝を再認識	宝を伝える	文化芸術活動や文化的資源を積極的に市内外へ情報発信します。	計画中「古賀市の個性を起こす→宝を伝える」1項目「古賀市が誇る文化芸術資源、自然景観、文化芸術の振興を担う人材を市内外に周知するため、捉え方・見せ方の工夫を行い、古賀市の文化的な魅力を広く伝えられるよう積極的に発信します。」に属すると考える。
			→（修正案）★古賀市が誇る文化、歴史、風景などの環境や文化芸術活動を積極的に市内外へ情報発信します。	